

4. 地域密着型サービス事業者等の整備について

(1) 小規模多機能型居宅介護事業所

(2) 介護予防拠点



加賀市健康福祉部長寿課

令和元年 9 月 26 日

(1)小規模多機能型居宅介護事業所 今後の整備方針

- ・当初の目標では第7期において山中圏域で小規模多機能型居宅介護事業所(以下、小多機)の整備を1か所行うと定めているが、加賀市の高齢者や事業所の現状において、改めて調査及び推計を行った。

報告についての委員からのご意見

- ・分科会の所管事務を狭めないでほしい。事業所の整備にあたって事業者協議会として意見を聞かれることはなかった。
 - ・人材不足が今後改善するかわからないが、先送りした場合に補助金は確保できるのか。
 - ・必要なものは必要だと思うが、介護人材が少ないということは問題なので考える必要がある。
 - ・必要だと思う。人材不足はわかったが必要なら整備する必要がある。元気な高齢者も協力できると思う。
 - ・年々長生きするようになっており必要と思う。
-
- ・ニーズだけの判断では難しいが、事業所ができていても人材がいないと市民の迷惑になる。事業所の努力だけでは難しい。人材育成の支援も必要。
 - ・山中圏域の利用率が高いということで、事業者は大変だか整備したらいいのではないか。
 - ・山中圏域は不足しており整備は必要と思うが、将来見込みによっては全市で余る可能性もあり結論は難しい。
 - ・介護人材の年齢層が上がってきており、夜勤や変則勤務が厳しい状況。募集をかけているがなかなか来ない。
 - ・選択肢を増やす意味であつたらよいと思うが、ヘルパーさん等も高齢化しており若い人が働くには厳しい環境でもある。市が現状を見て現場と一緒にやっていくことが大事。
 - ・高齢の職員がずっと働いてほしいと言われている現状がある。高齢者が増える中で難しい問題。
 - ・利用者の不便を考えると必要だが、見切り発車で職員がそろわず質が低下したり事故があつたりするのも困る。
 - ・福祉や介護の魅力を発信するようなイベントを開催して情報発信しているが難しさを感じている。

(2)介護予防拠点

介護予防拠点整備に係る募集の主な概要①

- 趣旨

高齢者と子供や障がい者との世代間交流や共生を目指した事業、スポーツ活動や介護予防等を通じて地域交流を図る事業、高齢者の見守り等の支援などのため、地域の拠点整備を図り、地域包括ケアを推進する。

- 整備箇所数 加賀市内全域で1カ所

- 募集要件

- ① 整備主体は、原則として介護保険事業又は医療・福祉事業の運営の実績・経験のある法人であること。
- ② 整備対象施設は、既存の介護サービス事業所の敷地内もしくは近隣で新築、増改築するものとし、地域の高齢者が集まりやすい場所であること。ただし、既に介護予防拠点が併設されている事業所は対象外とする。

介護予防拠点整備に係る募集の主な概要②

- 募集期間 令和元年7月26日(金)～令和元年8月30日(金)

- 事業者の選定方法

応募のあった事業者について、書類審査を行い、総合的に評価し、加賀市長が選定します。

- 整備補助金について

選定された事業者には、石川県の補助金事業を活用して、市から補助金を交付する予定。

○補助金額 1カ所当り、上限850万円の予定

○対象経費

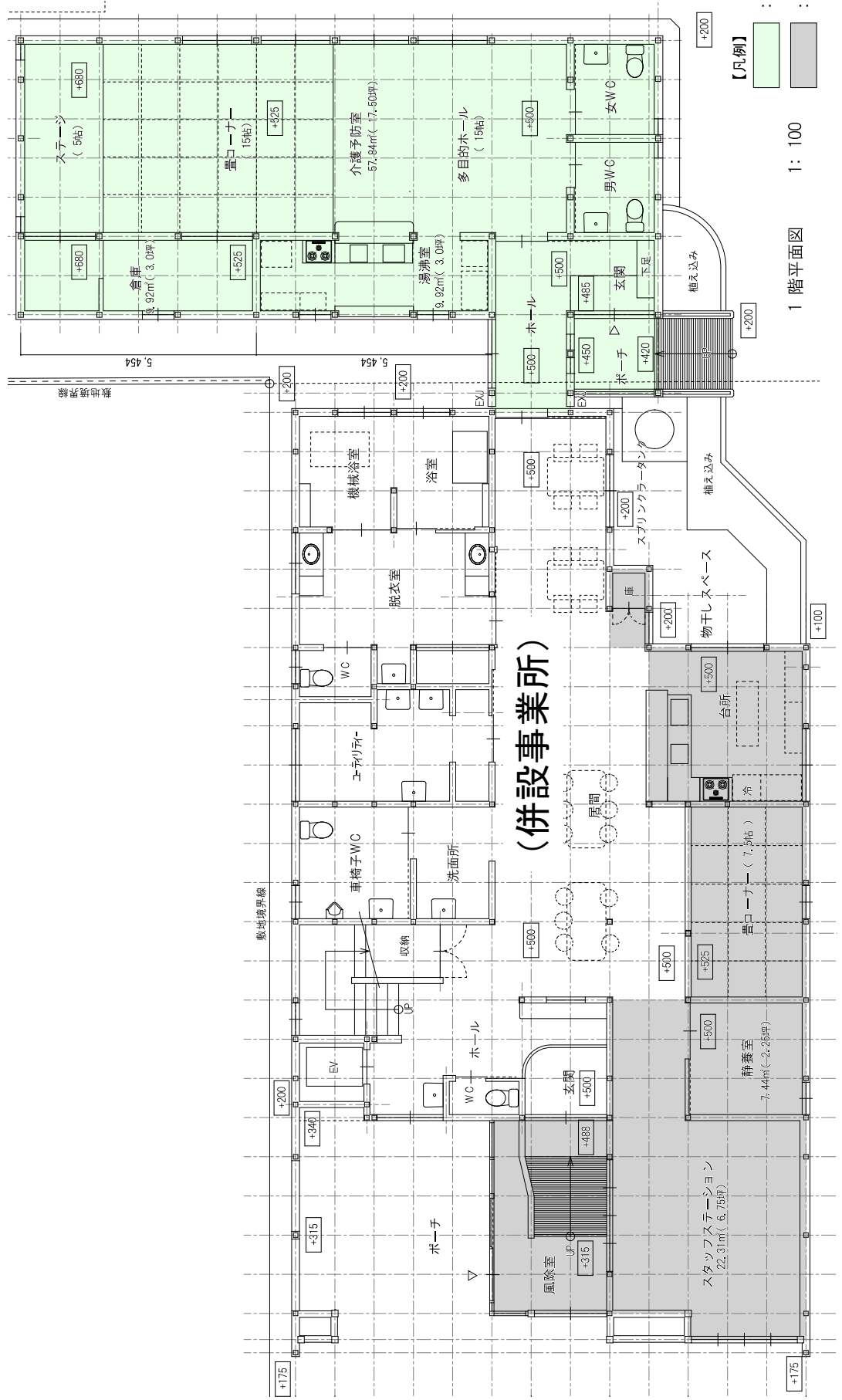
整備のために必要な工事費、工事請負費及び工事事務費

応募状況

応募事業者	社会福祉法人篤豊会
整備予定圏域	動橋圏域
併設する事業所のサービス種別	小規模多機能型居宅介護
整備部分の概要	増築 木造1階建て 延床面積 101.71㎡
介護予防拠点を活用した取り組み	「これまで開催してきた地域サロンの参加者が限定的なため、地域の高齢者が皆、積極的に参加できる企画を行うことで高齢者が孤立しないように見守り、健康維持に努めたい」という地元住民の要望を受け、積極的に場所提供を行い、地域の集いの場と、地域の福祉に貢献出来る場として、役割を果たしていく。 また、事業所登録者と地域住民の繋がりを絶やさないよう下記の様な催し物を行い、人と人との和を大切にしていく。 ・地区会合の場の提供 ・地区のニーズに応じた講座の開催 ・一人暮らしの高齢者を中心とした、季節折々の行事食を楽しむ会の開催 ・認知症カフェ(オレンジカフェ)の開催 ・映画上映会(DVD)等
総事業費 (財源内訳)	36,750千円 (自己資金750千円、補助金8,500千円、借入金27,500千円)

1階平面図

(介護予防拠点)



高齢者分科会地域密着型サービス整備部会 審査結果

圏域	法人名	得点 (50点満点)	平均点	委員からの主な意見
動橋 圏域	社会福祉法人 篤豊会	委員A 37点 委員B 30点 委員C 29点	32点	・多数の人が集まるような機能であるが、前面道路は狭く、駐車場も十分とは言えない。 ・増築部だけ見れば、前面道路の狭さから緊急車両が通りにくい立地である。 ・既存の施設と連携しており、地域との交流が図りやすい構造である。 ・これまで取り組んできた地域交流や介護予防の取り組みにプラスされるものがあると良い

【主な助言内容】

・建物について

人が集まるような機能であるため、外部との関わりを感じられる方が良いと思われる。
 ホールの間口が広い方が使い勝手が良いと思われる。
 介護予防室を広くしたほうがより多くの利用者が介護予防運動等を行えるのではないかな。
 住宅密集地帯でもあり、ステージ側からの避難経路の確保も必要と考える。

・取り組み内容について

想定される高齢者の年齢構成や旧来の商店街ネットワークなどを把握することで、事業所利用者の特性や今後の展開の示唆が得られると考える。学校や町内会との協力なども必要である。

今後の予定

内 容	日 程
応募受付開始	7月26日(金)
応募受付締め切り	8月30日(金)
書類審査	9月上旬
結果通知発送・補助金交付申請受付	9月末
補助金交付決定	9月末～10月当初
完成	令和2年3月31日までに